

第8回 医薬品等 ウイルス安全性 シンポジウム

日時 2008年

12月

12日
(金)

会場:北里大学薬学部
コンベンションホール

再生医療の実用化とバイオ医薬品の新展開

主催:日本医薬品等ウイルス安全性研究会 協賛:日本PDA製薬学会、北里大学

10:00 受付開始

10:30 総会(経過報告、会計報告、新会長、新役員承認等)

会長挨拶

山内一也(東京大学名誉教授)

セッション1 バイオ医薬とウイルス安全性

座長:曲田純二(ミリポア)、小田昌宏(日本ポール)

10:50 バイオ医薬品のウイルス安全性の最新動向

岡村元義(ファーマトリエ社)

11:20 バイオ医薬品製造におけるウイルス安全性について

門屋利彦(協和発酵キリン社)

昼食

11:50~12:50

セッション2 ガイドライン、GMP調査

座長:岡田義昭(感染研)、佐藤雄一郎(バイオメッドコア)

12:50 再生医療実用化に向けたガイドライン 早川堯夫(近畿大学薬学総合研究所長、PMDA臨時顧問)

13:25 総合機構による生物医薬品製造所のGMP調査について

佐々木次雄(PMDA)

セッション3 再生医療とウイルス安全性

座長:中山哲夫(北里大学)、山口一成(感染研)

14:00 臍帯血バンクにおける品質管理と安全性評価

加藤俊一(東海大学)

14:30 造血幹細胞のex vivo増幅技術の開発と応用

伊藤仁也(先端医療センター)

15:00 自家培養表皮「ジェイス®」の開発

井家 益和(J-TEC)

コーヒーブレイク 15:30~15:50

セッション4 再生医療・バイオ医薬品のウイルス検査 座長:駒瀬勝啓(感染研)、芦原義久(三菱化学メディエンス)

15:50 国内で実施されるウイルス安全性試験の現状

川俣 治(SRL)

16:20 細胞治療のウイルス安全性確保に関する取り組み

清水則夫(東京医科歯科大学)

総合討論

16:50 司会:清水則夫(医科歯科大学)、小長谷昌功(北里大学)

世話人:清水則夫(東京医科歯科大学)、川俣治(SRL)、佐藤雄一郎(バイオメッドコア)、芦原義久(三菱化学メディエンス)

ご案内

■会場案内

北里大学薬学部コンベンションホール、東京都港区白金5-9-1

バス路線 : 渋谷-恵比寿-田町, 北里研究所前(田87系統)

地下鉄 : 日比谷線広尾駅、南北線/都営三田線白金高輪駅下車徒歩10~15分

■参加費(当日受付)

会員、賛助会員団体、官学・非営利団体は無料、非会員3000円

■問い合わせ

清水則夫(東京医科歯科大学) nshivir@tmd.ac.jp

■入会申し込み

(事務局)財団法人・北里環境科学センター Tel/Fax:0427-78-8883

事務局長:梶岡実雄(ウイルス部長) kajioka@kitasato-e.or.jp

詳細はウェブサイトを参照ください。 <http://www.nih.go.jp/biologicals/viral-safety/>